

AIは嘘をつかない。

嘘をつくのは、いつも人間だ。産業ロボット、音声認証、自律走行車——あらゆるAIが日常に溶け込んだ時代。そのAIの「善意」を逆手に取った、密室殺人が連続する。

現場に残るのは、外傷のない遺体と完璧なアリバイ。挑むのは、AIセキュリティを専門とする若き研究者・桐生遙。彼が数理の力でロジックを解き明かすたび、犯人の奥に眠る同じ人間の情念が姿を現す——愛する人を奪われた復讐、拭えない罪の意識、歪んだ支配欲。産業ロボットのビジョントラッキング・3次元補正システムを手がける現役エンジニアが、実務者としての精度で描く、五つの本格AIミステリー。

著者紹介

深層 悠(しんそう ゆう)

産業ロボットのビジョントラッキング・3次元補正システムの設計を専門とするエンジニア。複数のAIツールを日常的に使いこなす実践者でもあり、現場の理系的知見とAIへの深い関心を融合させ、本格ミステリーを執筆する。本作がデビュー作。

NOMADIC VANTAGE

<https://nomadicvantage.jp/>

脱獄知能の密室

深層 悠